

令和３年度 男女共同参画懇話会 議事要旨

日時：令和３年 12 月 20 日 13：30～15：00

会場：土岐市役所

	【会長選出について】
事務局	会長退任に伴い、新たに会長を選出する必要が生じた。 選出について、会長から指名することを提案。→ 承認
会長	会長を指名。→ 承認
	【土岐市の男女共同参画の R2 年度進捗状況について】
事務局	資料に基づき説明
	【基本目標 1（男女共同参画意識の高揚）についての質疑・感想】
委員	図書館に SDG s 関連の本は充実し読みやすいものが多いが、男女共同参画関連の本は活字が多く、冊数も少ない。
会長	冊数の充実も大切だが、誰に向けたどのような内容なのかについても検討すると良い。
委員	制服の選択は女子のみか。男子がスカートを選ぶことも可能か。
委員	男子がスカートを穿くことについては、まだ意識が醸成されていないと感じている。 まだ取組の日が浅く、女子がスラックスを選択できる形でスタートすることが多い。
委員	隠れているだけで実際はスカートを穿きたい男子がいるのではないか。
委員	意識づくりの段階である。
会長	基本的に 6 つの中学校ごとに対応しているということか。
委員	資料には 2 校実施とあるが、その他の学校でも個別に対応している。その他、ジャージの色分けは完了している等、学校は比較的男女の区別がなくなってきている。
会長	男女の区別のあった時代からなぜ、どのように変わっていったのか、新しい時代の子どもたちに共有することも大事だと思う。
委員	講演会で昔は「男は男らしく、女は女らしく」だったが、今は「自分らしく」に変わったと聞いた。学校教育方針も変わっているか。
委員	おっしゃるとおり、世の中の流れの中で教育も変化してきている。
	【基本目標 2（あらゆる分野での男女共同参画の推進）についての質疑・感想】
会長	阪神淡路大震災の避難所生活は性被害が多かった。そのような心配から避難への躊躇が生じると本末転倒である。生理用品不足や、着替えスペースがない、子どもだけを避難所に残す不安等、市の訓練を通して得た気付きを共有するだけでなく、具体的な設備や施設として形にしていくことが大切。市の現状はどうか。
事務局	生理用品の備蓄は始めていると聞いている。女性の視点は意識しているが、訓練での気づきを具体的に実現するには至っていない。
会長	危機管理室になると思うが、市民に対しきちんとできていることをアピールすることで避難への後押しになる。他自治体を参考にしながら進めてほしい。
委員	女性の会でも訓練の中で車いすの方、犬を連れた方の対応等さまざまな意見が出た。 経験がない上、訓練をやっても忘れてしまうので、訓練を重ねることが大切だと思う。
委員	ワークライフバランスの推進について、賛同して女性を多く登用した企業への補助金

	等はあるか。
事務局	現状、ない。
委員	そういった企業への支援があれば、企業の女性積極採用が期待できる。現状は男女共同参画への支援というより会社への支援に見える。産休制度への支援等働き方への支援であることをより明確にするとよいのではないか。
	【基本目標3（配偶者等からの暴力のない社会づくり）についての質疑・感想】
会長	DVの意識啓発はコロナの影響もありリーフレット配付に留まっている。2, 3年遅れるとそういった教育を受けていない世代を生み出してしまう。リーフレットでは代えられない教育があるのでそういった意識を持ってほしい。
委員	（基本目標2に戻るが）地域活動における女性の登用推進について、「町内会ハンドブック」の配付先はどこか。
事務局	市内の全町内会長あてに配付した。
委員	町内会長に女性が増えることで地域の支援の幅も広がると思うが、なり手不足である。ハンドブックの配付も大事だが、なかなか難しい。
委員	独居老人の問題について、民生委員の方もいらっしゃるので、声掛けに遠慮もある。
委員	ある年代以上は教育の違いもあり、性差への意識が根強く残っている。現在の教育を受けている世代が大きくなることで変わってくると思う。
会長	（基本目標3に戻る） DVの相談件数82件は市内のものか。男性からの相談件数は把握しているか。
事務局	市内の件数である。内訳の把握はしている。
会長	相談件数が増えるのは良いこと。男性で悩んでいる方もいるので相談しやすくなるよう検討してほしい。
会長	DV関連のリーフレットについて、単にデートDVという狭い範囲を扱ったものでなく、性的同意の問題やアウティングの問題について等、内容についても検討をしていく必要がある。
事務局	今年度の成人式の啓発物品として、デートDV防止の啓発や相談先につながれるように内閣府のホームページQRコードを掲載したウェットティッシュを配付予定。ネットにつなげてもらうことで関連情報を検索してもらうこと等を期待している。
委員	全中学校においてデートDVへの理解促進を行ったとあるが、小学校、高校では実施していないのか。小学生には少し早いかな。
委員	小学生に交際の話はしづらく、デートDVという表現ではないが、男女関係なく仲良くするという包括的な話の一部として扱っている。高校は年齢に応じた発達の中でそのような話をしている。
委員	犯罪の低年齢化や小学生でも交際している子はいるので、年齢に応じた表現のリーフレットがあるとよいのではないか。
委員	町内会ハンドブック、DV防止リーフレット、ウェットティッシュの現物を見ることができるとうれしい。
会長	第2次土岐市男女共同参画プランの中にLGBTQの記載がないが、あえて入れていないということか。

委員	プランの策定スパンの5年が適切かどうか。中間的な見直しの必要性も感じる。
委員	(ジェンダーに関する問題について) メディア等でよく耳にするが、まだ市内で問題になっているという話も聞かない。市としてはまだ啓発の段階であると感じる。
会長	市のプランにLGBTQの言葉が入っていると、当事者の方へ市がきちんと向き合おうとしていることが伝わると思う。
委員	地域のコミュニティー等を見るとまだまだ男女の役割が残っている。大人から意識を変えていくことが大事。
事務局	LGBTQの課題がある一方で、男女共同参画については女性の社会進出等に課題があり国全体で進めているところ。LGBTQについては、市の人権施策で取り扱っている。土岐市男女共同参画プランの中にキーワードは出てこないが、市として重要課題であると認識している。今日のご意見を伺い、男女共同参画とも絡めていく必要性を感じた。
委員	多治見市の男女共同参画の冊子にはLGBTQの記載がある。地域差や表現の仕方等いろいろあると思うが、進めているところは進めている。
委員	ラジオで、30年前洗面所で母乳を捨てながら働いていた女性の話を聞きショックを受けた。女性は生理や出産、授乳があり、そういった違いへの理解、配慮が男女共同参画には必要だ。
会長	昔は当たり前にあった光景で、30年かけて法が整備され、どのような過程で今回のような懇話会が開かれるに至った等、伝えていければと思う。
	【その他について】
事務局	第3次土岐市男女共同参画プランの策定について説明
	終了